

1 PLAN(目的・概要)

政策名	環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり		30年度事業・施策評価結果		責任者 建設部 金城・中川・南5区担当課長
施策名	にぎわい創出に向けた再開発の推進		成果	コスト	
事務事業名	中川運河にぎわいゾーンの魅力向上				連絡先 052-654-7978
目的	対象(誰・何を)	中川運河の北幹線・北支線・東支線			事業期間 平成30年度～
	意図(どういふ状態にしたいか)	ささしまライブ24地区の開発などと連携し、都心地域に集まる人びとが訪れたいような「港と文化を感じる都心のオアシス」の形成をめざします。			
概要	「中川運河再生計画」で位置付けられている「にぎわいゾーン」において、護岸の老朽化対策及びプロムナードの整備を行い、東支線においては、護岸補修及び遊休地の有効活用を図るとともに、水質改善に向け河床に覆砂を行います。				根拠法令等
令和元年度の実施予定	護岸改良・護岸補修の実施、覆砂の計画検討調査、プロムナード整備に係る調査等を予定しています。				実施義務 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
					関連シート

2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	老朽化した護岸の改良・補修を実施するとともに、プロムナード整備に向けて基本計画の作成を行いました。また、東支線においては地層改善策の調査および遊休地の保全対策の検討を行いました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	9,504	65,815	196,361	90,560	
人件費	千円	-	-	17,431	17,431	
合計	千円	9,504	65,815	213,792	107,991	

3 CHECK(検証)

成果目標名	29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
中川運河覆砂進捗状況(全4工程) (進行管理型)	目標		1		4	東支線における覆砂の実施において①現況調査、②設計、③工事着手、④整備までの工程	
	実績		1	1			
		事業進捗状況(元年度)			○順調・やや遅れ・遅れ		
護岸補修延長(全1,100m) (進行管理型)	目標			350	1,100	東支線における既設護岸の補修延長(※最終年度は、令和4年度とします)	
	実績		83	500			
		事業進捗状況(元年度)			○順調・やや遅れ・遅れ		
プロムナード整備延長(全2,320m) (進行管理型)	目標			-	1,540	北支線・北幹線におけるプロムナードの整備延長(※令和3年度より整備予定)	
	実績			-			
		事業進捗状況(元年度)			順調・やや遅れ・遅れ		
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	東支線の水質改善に向け、覆砂の計画をとりまとめ、順調に進んでいます。また、東支線における護岸補修は令和元年度補正予算分も合わせて実施し、事業の進捗が図られました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	○	にぎわいの創出を図るため、引き続き、にぎわいゾーンの魅力向上に取り組む必要があります。					
有効性	○	にぎわい施設の誘導が進む沿岸用地の護岸の老朽化対策やプロムナードの整備や覆砂を通じて、「にぎわいゾーン」の魅力向上が図られます。					
効率性	○	コストが最小になるよう事業を進めています。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	うるおい・にぎわいに寄与する水辺に親しむ機会の創出に向け、にぎわいゾーンの魅力を向上させ、中川運河の再生を図る必要があるため。
課題			
護岸の改良・補修や覆砂、プロムナード整備の円滑な実施に向け、地域の理解を得ながら行っていく必要があります。		地域の理解を得ながら、老朽化した護岸の改良・補修や覆砂、プロムナードの整備に取り組めます。	